

i-NYA Times

第1号

発行日/令和2年6月6日

岩手県看護連盟青年部

はじめに、今現在も新型コロナウイルス感染患者様の治療や看護、その他の対応をされている全ての医療・福祉関係者の皆さま、私たちの生活を支えるために勤務されている全ての方々に敬意と感謝を表します。

我々の代表である、あべ俊子衆議院議員、木村やよい衆議院議員、たかがい恵美子参議院議員、石田まさひろ参議院議員も私たちが安心・安全に業務を行えるよう、補償に至るまで様々な待遇の向上を働きかけ、ご尽力されています。岩手県では、現在も感染者が報告されていませんが、今後も看護師として、看護連盟青年部として私たちが今できることを見つけながら活動をしていきたいと考えています。

さて、現在私たち岩手県看護連盟青年部（i-NYAT）は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、毎月実施している定例委員会の開催を中止しています。そんな中でも私たちで行えることをと考え、今回このi-NYATimes（アイニャタイムス）を発行する運びとなりました。青年部委員会の現状の報告や疑問に思ったこと、興味を示したことなども兼ねたざっくばらんな内容となっております。気軽にご覧いただくと幸いです。

岩手県看護連盟青年部委員長 松本 光太郎

感染対策について

孝仁病院の鈴木磨由美です。高校生の頃は平気で地べたに座ったり、カバンを床に置いたりしていた私ですが、年齢を重ね、「清潔」を意識するようになりました。そんな私にとって手指消毒用アルコール、除菌ウェットティッシュはマストアイテムです。ところが、新型コロナウイルス感染症が感染拡大し、除菌・アルコールと名のつくウェットティッシュや消毒液、そしてハンドソープも入手困難となりました。身近にあるもので、感染対策はできないのでしょうか…。

私が調べてみたところ、経済産業省が新型コロナウイルスに有効な界面活性剤を公表していました。市販の洗剤で新型コロナウイルスを除去できるとのことです。身近な物の消毒に役立つ情報だと思いますので、気になる方はチェックしてみてください。

おばあちゃんの手作りマスク

連盟青年部に入って2年目となりました、岩手医科大学附属病院の澤舘史晃です。

写真は祖母の自作したマスクです。猛威を振るうコロナウイルスと、我が家はこんな形で静かな戦いを繰り広げていました。マスク作成のための買い出しにも行けず、家に有る物で代用したのです。耳に掛けるゴムの部分は最初、祖母の履き古したストッキングでした。パソコンを駆使して、情報を集め作ったようです。コロナウイルスへの攻略法は案外身近なところに潜んでいるのかもしれないと思った日でした。一日でも早くこの疫病が終息しますように。

